

平成29年度

岡山市上建部財産区費特別会計
歳入歳出決算審査意見書

岡山市監査委員

岡 監 第 1 4 3 号

平成 3 0 年 8 月 2 2 日

岡山市上建部財産区管理者

岡山市長 大 森 雅 夫 様

岡山市監査委員 岸 堅 士

同 土 居 幸 徳

同 小 林 寿 雄

同 小 川 信 幸

**平成29年度岡山市上建部財産区費特別会計
歳入歳出決算審査意見について**

地方自治法第233条第2項の規定により審査に付された平成29年度岡山市上建部財産区費特別会計の歳入歳出決算及び証書類その他関係書類を審査しました。その結果、別紙のとおり意見を提出します。

目 次

岡山市上建部財産区費特別会計歳入歳出決算審査意見

第 1	審 査 の 対 象	-----	1
第 2	審査の実施場所及び期間	-----	1
第 3	審査の着眼点及び方法	-----	1
第 4	審 査 の 結 果	-----	1
1	決 算 の 概 要	-----	2
(1)	決 算 規 模	-----	2
(2)	決 算 収 支	-----	2
2	特 別 会 計	-----	3
(1)	歳 入	-----	3
(2)	歳 出	-----	4
3	財 産 に 関 す る 調 書	-----	5
資	料	-----	7

- (注) 1 文中の金額は、原則として万円単位で表し端数は切り捨てた。このため計数が一致しない場合がある。
- 2 文中の比率、各表中の比率及び数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。
- 3 本文各表の符号の用法は、次のとおりである。

「0.0」・・・該当数値はあるが、単位未満のもの
「—」・・・算出不能、該当数値のないもの
「ほぼ皆増」・・・増加率が10,000%以上のもの

平成29年度岡山市上建部財産区費特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

平成29年度岡山市上建部財産区費特別会計歳入歳出決算

第2 審査の実施場所及び期間

監査委員室

平成30年6月15日から

平成30年8月22日まで

第3 審査の着眼点及び方法

審査に当たっては岡山市監査基準に準拠し、平成29年度岡山市上建部財産区費特別会計歳入歳出決算書及び証書類並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書が関係法令に適合して調製されているかどうかを確認し、これらの計数を関係諸帳簿及び関係課から提出された決算資料と照合することにより実施した。

また、予算の執行状況等については、これらの資料のほか、必要に応じ関係者からの説明を聴取し、その適否について審査した。

第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令等に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であり、予算の執行は適正であると認めた。

なお、決算状況は、次のとおりである。

1 決算の概要

(1) 決算規模

本年度の予算現額は2,811万円で、これに対する決算額は、次のとおりである。（資料第1，2参照）

歳入総額	2,690万円（予算現額に対する執行率 95.7%）
歳出総額	2,612万円（予算現額に対する執行率 92.9%）
歳入歳出差引額	77万円

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

決算規模の推移

（単位：円，%）

年 度	歳 入			歳 出		
	決 算 額	対 前 年 度 増, 減 (Δ) 額	前年度比	決 算 額	対 前 年 度 増, 減 (Δ) 額	前年度比
25	11,307,970	1,487,528	115.1	7,989,463	801,907	111.2
26	18,480,710	7,172,740	163.4	12,931,192	4,941,729	161.9
27	60,608,740	42,128,030	328.0	31,796,794	18,865,602	245.9
28	42,261,808	△18,346,932	69.7	34,805,181	3,008,387	109.5
29	26,903,373	△15,358,435	63.7	26,125,898	△8,679,283	75.1

(2) 決算収支

本年度の決算収支の状況は次表のとおりで、総額では、歳入歳出差引額（形式収支）及び実質収支はともに77万円となっている。（資料第2参照）

決算収支の推移

（単位：円）

年 度	歳入総額 A	歳出総額 B	歳入歳出 差 引 額 C (A - B)	翌年度へ 繰越すべ き財源D	実質収支 E (C - D)	前年度収支 E - 前年度E
25	11,307,970	7,989,463	3,318,507	0	3,318,507	685,621
26	18,480,710	12,931,192	5,549,518	0	5,549,518	2,231,011
27	60,608,740	31,796,794	28,811,946	0	28,811,946	23,262,428
28	42,261,808	34,805,181	7,456,627	0	7,456,627	△21,355,319
29	26,903,373	26,125,898	777,475	0	777,475	△6,679,152

(3) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

歳 入 決 算 状 況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 C/A	収納率 C/B	不納欠損額	収入未済額
29年度	28,113,000	26,903,373	26,903,373	95.7	100	0	0
28年度	45,349,000	42,261,808	42,261,808	93.2	100	0	0
差引増減 (△)	△17,236,000	△15,358,435	△15,358,435			0	0
増減比	△38.0	△36.3	△36.3			—	—

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。(資料第3参照)

款 別 決 算 状 況

(単位：円，%)

款	29 年 度						28年度 収入済額 D	増, 減 (△) C - D
	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	執行率 C/A	収納率 C/B	前年度比		
財産収入	6,706,000	5,456,839	5,456,839	81.4	100	133.4	4,090,369	1,366,470
繰入金	9,647,000	9,646,114	9,646,114	100.0	100	ほぼ皆増	22,000	9,624,114
繰越金	7,457,000	7,456,627	7,456,627	100.0	100	25.9	28,811,946	△21,355,319
諸収入	4,303,000	4,343,793	4,343,793	100.9	100	46.5	9,337,493	△4,993,700
計	28,113,000	26,903,373	26,903,373	95.7	100	63.7	42,261,808	△15,358,435

収入済額は2,690万円で、前年度に比べ1,535万円(36.3%)の減少となっている。

これは、繰入金が962万円(ほぼ皆増)、財産収入が136万円(33.4%)それぞれ増加したが、繰越金が2,135万円(74.1%)、諸収入が499万円(53.5%)それぞれ減少したためである。

また、予算現額に対する執行率は95.7%、調定額に対する収納率は100%となっている。

(4) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

歳 出 決 算 状 況

(単位：円，%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A	翌年度繰越額	不用額
29 年 度	28,113,000	26,125,898	92.9	0	1,987,102
28 年 度	45,349,000	34,805,181	76.7	0	10,543,819
差引増減 (△)	△17,236,000	△8,679,283		0	△8,556,717
増 減 比	△38.0	△24.9		—	△81.2

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。(資料第3参照)

款 別 決 算 状 況

(単位：円，%)

款	29 年 度						28年度 支出済額 C	増, 減 (△) B - C
	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A	前年度比	翌年度 繰越額	不用額		
議会費	1,588,000	1,294,935	81.5	94.7	0	293,065	1,366,735	△71,800
総務費	19,406,000	18,122,994	93.4	85.4	0	1,283,006	21,229,795	△3,106,801
農林水 産業費	7,119,000	6,707,969	94.2	54.9	0	411,031	12,208,651	△5,500,682
計	28,113,000	26,125,898	92.9	75.1	0	1,987,102	34,805,181	△8,679,283

支出済額は2,612万円で、前年度に比べ867万円(24.9%)の減少となっている。

これは、農林水産業費が550万円(45.1%)、総務費が310万円(14.6%)、議会費が7万円(5.3%)それぞれ減少したためである。

また、予算現額に対する執行率は92.9%で、不用額は198万円である。

2 財産に関する調書

平成29年度における財産の取得及び処分の異動状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

ア 土地

本年度末における土地の面積は2,500,901.46㎡で、本年度中の異動はない。

イ 山林

本年度末における山林の所有面積は2,440,290.09㎡で、本年度中の異動はない。

ウ 出資による権利

本年度末における出資による権利は40万円で、本年度中の異動はない。

(2) 基金

本年度末における基金は管理費積立基金1億856万円で、前年度末より761万円増加している。